

いつでも どこでも いつまでも

～ すすめます！ スポーツをもっと身近に ～



公益社団法人

東京都障害者スポーツ協会

Tokyo Sports Association for Persons with Disabilities

だれもが「いつでも どこでも いつまでも」 スポーツに親しむことのできる スポーツ都市東京の実現

基本理念

スポーツ・レクリエーションを生涯にわたって、行い楽しむことは全ての人の権利です。

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会は、障害者スポーツの振興を通して、障害の有無や種別の枠を超え、各人の能力に応じ自己選択し、交流し合い、競い合う、スポーツ・文化活動に参加する機会を平等に保障する共生社会の実現に貢献します。

協会の概要

法人名称 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
認定年月日 平成21年7月1日
住 所 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ12階
役 員 会長、理事、監事

法人の沿革

平成2年5月 社団法人東京都精神薄弱者スポーツ協会設立
平成15年4月 社団法人東京都障害者スポーツ協会改組
平成17年4月 東京都障害者スポーツセンター(総合・多摩)受託経営
平成18年4月 東京都障害者スポーツセンター(総合・多摩)指定管理者
平成21年7月 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会認定
令和5年3月 東京都パラスポーツトレーニングセンター指定管理者





協会シンボルマークの紹介

このマークは障害者のためのスポーツという枠にとらわれず、スポーツの楽しさや躍動感を表現、一人の選手が大空に向かって大地を蹴り、鳥のように羽ばたく瞬間をイメージすると同時に東京都の「と」の字を図案化しています。またマーク全体のフォルムはSPORTS(スポーツ)の頭文字「S」をシンボリックに表現したものです。イメージカラーは「大空」と「大地」です。

6 つ の 取 組

地域における障害者スポーツの振興

だれもが身近な地域でスポーツを楽しめる環境を整備し、日常生活にスポーツが浸透した地域コミュニティを形成していきます。また、多くの人が障害のある人のスポーツ指導・支援に携われるよう支えていきます。

障害者スポーツの理解促進・普及啓発

メディアを活用して障害者スポーツの情報・魅力を発信しています。また、体験型イベントの開催等により、障害者スポーツの認知度を向上させます。

パラアスリートの競技力向上と 競技団体の運営支援

国内外のスポーツ大会で活躍できる選手を継続的に輩出するために、選手層の裾野拡大と競技力の向上を図ります。また、東京都内の競技団体の体制強化を支援します。

障害者スポーツ大会の開催

障害のあるすべての人が日ごろの成果を発揮できる大会を開催し、スポーツへの参加を促していきます。また、障害の有無に関わらず参加できる大会を開催することで、障害の理解や障害者の社会参加を促進します。

東京都障害者スポーツセンター (総合・多摩)の運営

障害者専用のスポーツセンターを運営しています。障害のある人がスポーツを始める際にサポートをするとともに、障害者専用の施設として充実した機能を発揮し、地域の障害者スポーツ振興に貢献しています。

東京都パラスポーツトレーニング センターの運営

パラスポーツの競技力向上の拠点となる都立スポーツ施設を運営しています。競技団体やチーム、アスリートが安定的、継続的に練習できる環境を整えるとともに、だれもがパラスポーツを楽しむことができる普及振興の場としての役割を担っています。



こちらより各事業の詳細リンクを
確認いただけます。

地域における障害者スポーツ振興

障害のある人が身近な地域で継続してスポーツを楽しめるよう、
区市町村等と連携したスポーツ実施に向けた環境づくり、
障害者スポーツを支える人材等の育成を行っています。

【写真】人材活動活性化事業

都内62区市町村 “どこでも” 障害者スポーツを楽しめる環境へ

パラスポーツ地域サポート事業

区市町村、地域スポーツクラブ、福祉施設、学校等における障害者スポーツに関する事業の実施に向けた協力、助言等を行っています。

地域ブロック関係者連絡会議

障害者スポーツの推進体制構築に向けた視点やノウハウ等の獲得・共有

令和5年度実績：ブロック毎に2回の計10回実施

環境整備支援事業

障害者スポーツイベントや体験会、研修会・講演会などの企画・運営のサポート

令和5年度実績：108件(実施事業数)

指導員等派遣事業

大会・教室へのパラスポーツ指導員等の派遣

令和5年度派遣人数：51名

パラスポーツ 用具貸与事業

競技用車いすやブラインドサッカーボールなどの障害者スポーツ用具の貸出し

令和5年度貸出件数：83件

“だれもが” スポーツ施設を利用しやすいように

障害者のスポーツ施設利用促進事業

令和4年度に改訂したスポーツ施設における障害者の受入対応等をまとめた「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」を周知および普及促進をはかるとともに公共・民間スポーツ施設に対しても継続的な環境整備を進めます。

スポーツ施設利用促進アドバイザー

都内公共スポーツ施設を対象に、施設の状況やニーズに合わせ、職員研修をはじめ、障害のある人の日常利用につながるサポートを行います。

スポーツ施設利用促進研修会

都内公共・民間スポーツ施設を対象に障害の理解や配慮、障害のある人の施設利用での不安や疑問などとその解消策を各施設での事例をふまえ研修会を実施します。



東京ゆかりのアスリート、チームと社会をつなぐ

パラスポーツ人材地域活動促進事業「東京パラくる」

東京都の強化指定選手等の経験等を地域に還元する機会を創出し、地域に障害者スポーツを根付かせるとともに、競技スポーツ人口の裾野拡大にもつなげます。

東京パラくる登録件数

107名

(令和6年3月末時点)

※登録者にはアスリート、スタッフ、団体が含まれます。



東京パラくるを活用して実施された車いすフェンシング体験会

支えるヒトを育てる、ひろげる

パラスポーツを支える人材の育成

区市町村職員、スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ関係者、公共スポーツ施設職員や教職員、医療・福祉関係者など身近な場所で障害のある人に関わる方に向けて、パラスポーツの知識習得・支援技術向上のための講習会を実施しています。

東京都
パラスポーツセミナー

初級・中級パラスポーツ指導員
養成講習会



東京都パラスポーツセミナー

“支えるヒト”と地域をつなぐ “支えるヒト”の活動をサポートする

人材活動活性化事業

パラスポーツ指導員・障害者スポーツを支える人たちの活動を促進するため、各地域スポーツ活動の場と支える人材とのマッチングを図り、活動場所の情報提供や研修会・フォーラムなどを開催しています。

障害者スポーツ人材バンクの運営 「TOKYO S&S」

都内で障害者スポーツの支援を希望する方をボランティアとして登録し、地域における活動情報を提供しています。



ボランティアコーディネーター事業

障害者スポーツボランティア活動を希望する個人や団体とボランティアを募集する主催者の双方の相談に応じ、活動の場を支援していきます。

地域事業参加型指導員育成事業

地域における障害者スポーツ事業とそこに根付く人材を育成するための研修を行っています。

リ・スタート研修会

活動経験の少ない方や活動にブランクがある方を対象に、活動に向けた不安を解消するための講習会を実施しています。

パラスポーツフォーラム

パラスポーツを支える人材が集まり、最新情報の提供や参加者間のネットワークを構築するフォーラムを開催しています。

TOKYO S&S 登録者数

個人	8518人
団体	10団体
募集団体	67団体

(令和6年3月末時点)



パラスポーツフォーラム



こちらより各事業の詳細リンクを
確認いただけます。

障害者スポーツの理解促進・普及啓発

障害のある人に対するスポーツの普及・振興、障害のない人に対する
障害者スポーツの理解促進のための事業を行っています。

【写真】参加型体験スポーツイベント「チャレスポ！TOKYO」

障害のある人もない人も一緒に楽しもう！

参加型体験スポーツイベント 「チャレスポ！TOKYO」

障害のある人もない人も共に参加でき、障害のある人がスポーツを始めるきっかけとなるスポーツイベントとして、車いすバスケットボール等の障害者スポーツの体験や、アスリート・著名人によるスポーツ対戦企画等のステージプログラムを実施しています。



【2024年1月20日撮影】

パラスポーツのなんでも相談・情報窓口

パラスポーツコンシェルジュ事業

企業・団体等のご担当者様からの障害者スポーツの支援に関する様々な相談に対し、解決に向けた助言を行っています。

令和5年度
相談実績

223件/年



東京の障害者スポーツ情報を定期配信

広報活動

大会、イベント、教室等の障害者スポーツに関する情報をHP、Twitter、広報誌を通じて提供しています。



都内の障害者スポーツに関する情報が集まる

専門ポータルサイト

「TOKYOパラスポーツ・ナビ」の運営

障害者スポーツのポータルサイトとして、都内の公共スポーツ施設のバリアフリー情報や、障害のある人が参加できるイベント、都内で活動するスポーツクラブ・団体情報等を収集し、障害者スポーツに関する情報を検索できるほか、都内の障害者スポーツ関連情報をトピックスとして発信しています。



TOKYO **パラスポーツ・ナビ**

TOKYOパラスポーツ・ナビ 🔍 検索

令和5年度イベント掲載実績

208件

施設・団体掲載数

スポーツ施設 **651**件

クラブ・施設 **91**件

(令和6年5月1日時点)

障害者スポーツを始めるきっかけに!

パラスポーツスタートガイド

障害のある人が競技スポーツを始めるきっかけとするとともに都民の障害者スポーツに対する認知度向上を目的としたウェブサイト「パラスポーツスタートガイド」を構築し、様々な障害者スポーツの情報を発信しています。



**パラスポーツ
スタートガイド**

パラスポーツスタートガイド 🔍 検索

掲載競技数

46競技

(令和6年5月1日時点)

障害者スポーツの試合をライブ配信

「TOKYOパラスポーツチャンネル」の運営

国内最高峰の障害者スポーツ大会を、YouTubeと都内ケーブルテレビで同時生配信しています。配信後は、YouTubeアーカイブで実況・解説付きの本格映像をいつでもご視聴いただけます。



TOKYO **パラスポーツ** 障害者スポーツを
ライブ配信

パラスポーツチャンネル 🔍 検索

【中継実績】令和5年度中継大会

日時	競技	大会名
2023年 6月 25日 (日)	フロアバレーボール	第10回JFVAクラブ日本一決定戦
2023年 8月 6日 (日)	パラダンススポーツ	Tokyo 2023 World Para Dance Sport International Competition
2023年12月 10日 (日)	パラ・パワーリフティング	第24回全日本パラ・パワーリフティング選手権大会
2024年 2月 4日 (日)	ろう空手	第7回JDKF.空手道競技大会
2024年 2月 18日 (日)	デフバレーボール	第25回ジャパンデフバレーボールカップ川崎大会



パラアスリートの競技力向上と 競技団体の運営支援

パラアスリートの競技力向上のための強化活動を支援しています。
また、競技団体の体制整備や組織力強化を
図るための取組みを行っています。



こちらより各事業の詳細リンクを
確認いただけます。

【写真】 パラスポーツ次世代ホープ発掘事業

東京ゆかりの

アスリートを世界の舞台へ

パラスポーツ次世代ホープ発掘事業

国際大会で活躍する次世代を担う有望選手を
発掘するために、競技体験会や相談会等を競技
団体と連携して実施しています。また、継続的
なスポーツ活動や競技スポーツへの取組みに
繋がるようなプログラムを提供しています。



令和5年度パラスポーツ 次世代ホープ発掘事業 実績

体力測定会 26名(全3回通算)
測定会・競技体験会 119名(全2回通算)
トレーニング講習会(座学・実技) 32名(全5回通算)



令和5年度パラスポーツ次世代ホープ発掘事業の様子

東京ゆかりのアスリート等の活躍を支える

東京パラアスリート強化事業

国際大会で活躍する東京ゆかりのパラアスリートを継続的に輩出していくために、アスリートとアスリートを支えるスタッフの競技活動を支援するとともに、その活動を広く周知し、活動環境の改善とパラアスリートの一層の競技力向上を図っています。



令和5年実績

東京ゆかりパラアスリート認定選手 98名
東京ゆかりジュニアパラアスリート認定選手 5名
東京パラスポーツスタッフ 58名

選手や競技を支える競技団体の体制基盤を盤石にする

パラスポーツ競技活動支援事業

都内を統括する競技団体が行う事業に対して助成金を交付し、団体の自主的な活動の拡充を図っています。

令和5年実績

助成金交付先団体 14競技団体

パラスポーツ団体体制強化支援事業

都内を統括する競技団体の活動基盤・体制を強化することを目的として、講習会や専門家相談、法人格取得支援等の支援メニューを提供します。

研修会

ガバナンス・会計処理に関する研修会や競技団体の活動に関する事例発表会の実施

法人格取得支援・専門家相談

団体の法人格取得にかかる経費の助成や専門家による相談支援を実施

事務サポート

競技団体の活動状況や運営上の課題に関するヒアリングや相談対応等の実施

外部連携

団体運営や課題改善に向けたプロボノを活動した共同プロジェクトの実施

強化練習会の開催支援

全国障害者スポーツ大会の実施競技における選手の競技力向上を目的として、競技団体及び関係者と連携のもと練習会等の事業を実施しています。

令和5年実績

助成金交付先団体 12競技団体



こちらより各事業の詳細リンクを
確認いただけます。

障害者スポーツ大会の開催

様々な障害のある人たちが参加できる各種大会を開催しています。
また、全国規模の大会にも選手団を派遣しています。

【写真】東京都障害者スポーツ大会(陸上競技)

国内最大級の障害者スポーツの大会!!

東京都障害者スポーツ大会の開催

「身体」「知的」「精神」の三障害を統合した都内最大規模の障害者スポーツ大会を開催しています。陸上、水泳、卓球、車いすバスケットボール、スポーツの集いなど15競技(個人競技8競技、団体競技7競技)を、都内各地で年間を通じて実施しています。個人種目の競技では全国障害者スポーツ大会の選考会も兼ねています。毎年、4,000名を超える選手が参加し、約5,000名のボランティアにご協力いただいています。また、開催に向けて障害者スポーツ特有の競技の知識習得と審判法習得を目的とした講習会を開催しており、競技別の指導者研修会、選手の養成事業等も行っています。

令和5年度実績

全15競技 **4051名**参加
(※うち1競技は雨天のため中止)

東京都障害者スポーツ大会・都民体育大会 合同開会式の開催

東京都障害者スポーツ大会と都民体育大会(都民の健康増進と体力向上を図り、都民生活を明るく豊かにすることを目的とし、区市町村対抗で32競技に渡って競い合う大会)の開会式を合同で開催し、障害のある人とない人がお互いのスポーツ競技への理解を深め、交歓を図ることのできる式典を開催しています。



東京都障害者スポーツ大会(ソフトボール)

東京都選手団として、全国各地の選手、仲間たちと交流

全国障害者スポーツ大会への東京都選手団の派遣

全国障害者スポーツ大会は、国民体育大会終了後に同じ開催地で行われている全国的な障害者スポーツの祭典です。パラリンピックなどの競技スポーツとは異なり、障害のある人々の社会参加の推進や、障害のある人々に対する国民の理解を深めることを理念としています。

全国障害者スポーツ大会に向けて、東京都障害者スポーツ大会において選手を選考し、東京都選手団を編成し派遣しています。



全国障害者スポーツ大会（開会式）



令和5年度実績

東京都選手団

派遣選手：**238**名
(個人：133名 団体：105名)
役員：**106**名
総勢：**344**名

出場種目

<個人競技>陸上競技・水泳・アーチェリー・卓球・サウンドテーブルテニス・フライングディスク・ボウリング・ボッチャ
<団体競技>バスケットボール(男・女)・フットソフトボール・グランドソフトボール・バレーボール(知的・精神)・サッカー

メダル獲得数

個人競技：**241**個
(金：75個 銀：44個 銅：33個)
団体競技：**6**名
(金：2個 銀：2個 銅：2個)

障害のある方もない方も一緒に参加できる新しい形のスポーツ大会

東京都障害者スポーツ大会オープン競技の開催

障害の有無を問わず参加できる障害者スポーツの競技会を「東京都障害者スポーツ大会オープン競技」として開催しています。本競技会を開催することで障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進するとともに、競技団体の活動活性化や競技スポーツ実施者の裾野拡大を目指します。

令和5年度開催競技	シッティングバレーボール、バドミントン
令和4年度開催競技	ハンドサッカー、フットサル(精神部門)
令和3年度開催競技	障害者セーリング、ローリングバレーボール

東京CUP卓球大会

東京CUP卓球大会は、障害のある人もない人も参加でき、競技力別(一部障害別)に5グループに分かれ、団体戦と個人戦を行います。卓球競技を通して、選手相互の交流と親睦を図ることで、障害の理解や障害者の社会参加を促進するための大会を開催しています。



東京CUP卓球大会



東京都障害者スポーツセンター 総合 多摩 の運営

スポーツ・レクリエーションを通じ健康増進と社会参加を促進するための、
障害のある方専用のスポーツ施設です。

こちらより各事業の詳細リンクを
確認いただけます。

【写真】第3回わくわく運動会～初めての陸上大会～

障害者スポーツセンターってどんなところ？

スポーツ・レクリエーションを通じ健康増進と社会参加を促進するための、障害のある方専用のスポーツ施設です。体育館・プール・卓球室・トレーニング室などのスポーツ施設のほか、集会室や宿泊施設も併設しています。専門スタッフが常駐しているので、障害のある方が一人でも気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができます。また、地域住民の方やボランティアなど障害者スポーツを支えたいと考えている方を対象にした事業も行っています。

対 象	身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方
	障害の手帳交付者と同程度の障害を有する方
	障害者の介護をする方
	障害者の福祉増進を目的とする団体
	その他、特に都知事が認める方
利用手続	個人で施設を利用する場合は、初回に利用証の交付を受け、その後は利用証を提示して利用することができます。また、団体で利用する場合は利用日の3ヶ月前の当日から来館または電話により予約を受付致します。ただし、事業がある場合は予約できません。日程についてはお問い合わせください。
利用時間	9時～21時 (但し、スポーツ施設の利用時間には制限があります)
休館日	毎週水曜日と祝日の翌日(その日が土・日曜日の場合は開館)、年末年始(12月29日～1月3日)
利用料	無料(宿泊施設を除く)

日常施設開放

スポーツスタッフが障害の種類や程度・目的に応じて、楽しく・安全にそして快適にスポーツができるよう支援しています。

健康スポーツ相談

スポーツ医事相談

初めて利用する方や医学的にまだ不安がある方に対して、医師や理学療法士、管理栄養士から健康管理、運動量や栄養等について助言や支援を行っています。

運動相談

初めてセンターで運動を実施しようとしている方や、健康・体力の維持増進、競技力向上のためのトレーニング方法を知りたい方などに対して、スポーツスタッフが様々な運動の実施についての相談に応じます。



医師による健康スポーツ相談



東京都障害者総合スポーツセンター

体育館	プール	卓球室
サウンドテーブルテニス室	トレーニング室	
多目的室		
洋弓場	運動場	庭球場

令和6年度事業のご案内



そのほか、集会室、研修室、印刷室、宿泊室もございます。



東京都多摩障害者スポーツセンター

体育館	トレーニング室
プール	卓球室
サウンドテーブルテニス室	

令和6年度事業のご案内



そのほか、集会室、録音室、印刷室、宿泊室もございます。

スポーツ教室

初めて運動する方から大会出場を目指す方まで、レベルに応じた様々な教室を開催しています。一部の教室において、オンラインでの開催も実施しています。また教室によっては随時ボランティアの受け入れを行っています。

スポーツ導入教室	これからスポーツを始める方、センターを利用してまだ間もない方対象の教室です。
入門教室	スポーツに挑戦してみたいと思った方を対象にした教室です。
中・上級教室	試合に参加してみたい、レベルアップしたいという方が対象です。
アウトドア教室	屋外に出て、スポーツの体験をします。
アスリートサポート	競技としてのスポーツ実施に向け、さらに上のランクを目指す教室です。
ジュニア対象教室	中学生以下の方を対象として開催しています。
地域交流教室	障害のある方もない方も一緒に参加できる教室です。
重度障害者対象教室	重度の障害がある方でも安全に、介護者もともに楽しめます。
介護予防支援教室	生活に役立つ運動を行っています。



水泳教室(総合)



ジュニア対象教室(多摩)

講習会

障害者スポーツの普及や振興、身近な地域での活動を支える人材育成のための講習会を開催しています。

スポーツボランティア講習会

障害のある方のスポーツ活動に関わってみたいという方のための入門講習会です。

フォローアップ講習会

障害のある方のスポーツ活動の普及を積極的に推進していく意欲のある方が対象の講習会です。

初級パラスポーツ指導員養成講習会

(公財)日本パラスポーツ協会公認の資格取得のための講習会です。両センター一年1回ずつ開催しています。

大会

初心者から上級者まで、日ごろの練習の成果を発揮できる場として開催しています。



はばたき陸上大会(総合)

地域交流事業

どなたでも楽しく参加できるスポーツ体験やイベントを実施しています。ご家族やお友達をお誘いのうえ、お越しください。



地域交流事業【障害者週間記念事業】(多摩)

地域振興事業

障害のある方が身近な地域でスポーツに親しむことができる環境づくりを推進するために、区市町村等が主催する事業へ協力するなど、地域での取組を支えています。また、事業を通してパラスポーツ指導員、ボランティアの育成を行っています。



こちらより各事業の詳細リンクを
確認いただけます。

東京都パラスポーツ トレーニングセンターの運営

パラスポーツの競技力向上の拠点として、競技団体やチーム、アスリートが
安定的、継続的に練習できる環境を整えている都立スポーツ施設です。

【写真】東京都パラスポーツトレーニングセンター外観・体育室

団体利用について

- ご利用にあたっては、事前に東京都スポーツ施設利用登録申込書にてご登録をいただきます。
- ご予約は原則『東京都スポーツ施設予約システム』から行えます。活用が難しい場合は、電話・FAX・受付窓口にて申込受付を対応いたします。また、団体の構成内容により予約受付期間が分かれます。
- 利用施設・時間帯ごとに利用料金が異なります。

団体利用可能施設

 多目的室	 多目的スタジオ	 小体育室2	 小多目的室
体育室	多目的室	小多目的室	トレーニング室
多目的スタジオ	集会室A・B・C	小体育室1	小体育室2

詳細はHPまたは当センターへお問い合わせください。▶



個人利用について トレーニング室のみ

- 18歳以上の方、その他施設が認めた方がご利用いただけます。
- 初回利用時に登録証の発行をいたします。
- 利用料金は500円/3時間となります。(障害者手帳等をお持ちの方とその付添者1名は無料)



スポーツ振興事業

パラスポーツ競技団体やチーム、アスリートが競技力向上を目指す事業、障害のある方もない方も楽しむことができるスポーツ教室、多様なパラスポーツクラブやボランティア人材等に協力いただき実施する事業などを行います。

スポーツの日記念事業

味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザと連携し、障害のある方もない方も楽しむことができる様々なイベントを行います。

自主事業

パラアスリートの競技力向上のための事業など、施設の特性や地域資源を生かした事業を行います。

周辺連携事業

周辺地域や団体とのネットワークを活用し、パラスポーツの競技力向上や普及啓発の実現に向けて事業を行います。

会員募集のご案内

当協会は、皆様からの会費や寄附金で、障害のある人のスポーツを支援する活動を行っております。会員の皆様には当協会の活動趣旨にご賛同いただき、総会での議決権がある正会員として、あるいは当協会の目的に賛同する賛助会員として、障害者スポーツの振興を支援いただければと思います。ご入会いただけますと会員の種別・口数に応じてささやかながら各種会員特典をご用意しています。

個人会員について

個人正会員については、年会費1口10,000円、個人賛助会員は、1口3,000円から募集しています。

個人会員 特典一覧

	個人正会員	個人賛助会員
年会費	1口 10,000円	1口 3,000円
特典	ノベルティグッズ	○
	ジュニア用車いす貸出	○
	広報誌	○
	メールマガジン	○

*個人賛助会員は寄附金控除を受けることができます。



広報誌



ノベルティグッズ
※年度によって内容は変更
する場合がございます。



ジュニア用競技用車いす

団体会員について

団体会員については、会費に応じて、講習会や体験会の企画・運営について協力、障害者スポーツの競技用具（競技用車いす等）の貸与、広告掲載などの特典があります。

団体会員 特典一覧

	団体正会員	団体賛助会員(2口以上)	団体賛助会員(1口)		
年会費	50万円	10万円～	5万円		
特典	講習会	企画・運営を 無料協力 2回目以降も企画について 無料でご協力	企画について 無料協力		
	体験会				
	競技用車いす貸出	年5回まで	年2回まで	—	
	広告掲載	A4サイズ無料掲載	A4サイズ無料掲載	A4 ½サイズ無料掲載	
	HP バナー掲載	トップページ	○	○	—
		会員一覧ページ	○	○	○
	HPへの団体紹介文掲載	○	—	—	
	大会観戦ご招待	○	—	—	
	広報誌	○	○	○	
	大会ボランティア案内	○	—	—	
メールマガジン	○	○	○		

※企画:事業のプランニングにご協力いたします。運営:事業の運営をお手伝いいたします。
 ※会員でなくても、ポッチャセット、ブラインドサッカー用ボール、ゴールボール用ボール、アイシェードにつきましては無料でお貸しできます。また競技用車いすは寄附10万円以上の団体にも1回お貸しできます。用具の貸出は利用内容を考慮した上で判断させていただきますので、ご了承ください。
 ※用具の搬入に係る費用は用具借受者の負担となります。
 ※広告掲載は東京都障害者スポーツ大会プログラム冊子への掲載となります。
 ※団体正会員には大会ボランティアの参加案内を年3回(東京都障害者スポーツ大会、スポーツの集い、東京CUP卓球大会)させていただきます。

寄附のご案内

寄附をされた方は寄附金控除が受けられます。ご希望の方は、必要書類をご用意させていただきますので、お気軽にお問合せください。

個人による寄附

個人賛助会員及び寄附をされた方は**確定申告により税制上の優遇措置(税額控除か所得控除が選択可能)**を受けることができます。優遇についての詳細は最寄りの税務署にお問合せください。

法人による寄附

当協会は公益法人の認定を受けておりますので、当協会への寄附金は、一般の寄附金とは別枠で損金算入できます。以下の金額を限度として税務上の費用(損金算入)とすることができます。

法人が支出する寄附金のイメージ

特定公益法人に対する寄附金に係る 損金算入限度額 + 一般の寄附金に係る 損金算入限度額

法人が特定公益増進法人に対して寄附をした場合には、
 (所得金額の6.25% + 資本金等の額0.375%) × 1/2を限度額として損金算入

*上記の限度額は併用することができます。詳細は国税庁のホームページをご覧ください。

会費・寄附金の納入方法

会費は東京都障害者スポーツ協会専用振込用紙により、郵便振込、コンビニ決済またはクレジット決済にてお支払いが可能です。また寄附金の納入については、クレジット決済または寄附金申込用紙をご記入の上ご連絡ください。ご入会手続きは、当協会HP内会員募集ページから行うことができます。



団体会員向け用具貸与物品



①ブラインドサッカー用ボール
 ②ゴールボール用ボール ③ポッチャセット
 ④アイシェード ⑤競技用車いす



公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会

所在地 〒162-0823
東京都新宿区神楽河岸1番1号
セントラルプラザ12階

T E L 03-5206-5586

F A X 03-5206-5587

X (旧Twitter) @tosyokyo

YouTube @tsad_ch

Instagram @toshokyo

アクセス ● JR「飯田橋駅」西口より徒歩1分
● 地下鉄「飯田橋駅」B2b出口



東京都パラスポーツ トレーニングセンター

所在地 〒182-0032 東京都調布市西町376-3

T E L 042-443-2850

F A X 042-443-2851

X (旧Twitter) @TPTC0321

アクセス ● 京王線「飛田給」駅下車 徒歩約15分
● 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩約30分
● 駐車料金についてはHPまたは当センター
までお問い合わせください。



東京都障害者総合スポーツセンター

所在地 〒114-0033 東京都北区十条台1-2-2

T E L 03-3907-5631

F A X 03-3907-5613

X (旧Twitter) @tsadsogo

アクセス ● JR埼京線「十条駅」南口より点字ブロッ
クが敷設されています。(徒歩 約10分)
● JR「王子駅」とJR「池袋駅(西巣鴨経由)」
より無料送迎バスを運行しています。



東京都多摩障害者スポーツセンター

所在地 〒186-0003 東京都国立市富士見台2-1-1

T E L 042-573-3811

F A X 042-574-8579

X (旧Twitter) @tsadtama

アクセス ● JR中央線「国立駅」南口より大学通りを
直進(徒歩 約20分)
● JR南武線「谷保駅」北口より大学通りを
直進。(徒歩 約10分)
※ JR「国立駅」と「谷保駅」より無料送迎バ
スを運行しています。



東京都障害者スポーツ協会ポータルサイトでは、事業のお知らせなど様々な情報を随時更新しています。
各センターの情報もこちらからご覧いただけます。

東京都障害者スポーツ協会

🔍 検索

<https://tsad-portal.com/>

